

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



なごや  
ちくさ  
WEEKLY

名古屋千種ロータリークラブ  
承認 1982年 8月24日  
例会日 火曜日 12:30  
例会場 愛知厚生年金会館  
事務局 千種区池下一丁目4番18号  
井上ビル4F D号  
Tel 763-5110  
会長 加藤大豊

見つけよう 奉仕の新生面  
Discover a New World of Service

1984-85年度 RI 会長 カルロス・カンセコ

## 第96回例会 昭和59年7月10日(火) 晴

### ◇ “奉仕の理想”

#### ◇出席報告

会員 55名 出席 46名  
出席率 83.64 %  
前回 7月3日 (修正出席率) 98.18 %  
make up  
青山君(7/6北), 深見君(6/30守山), 原君(7/5西), 加藤(田)君(7/6北), 松藤君(7/5富山), 水野(岡)君(7/6港), 杉山君(7/6港), 鈴木(田)君(7/2空港), 手島君(7/4和合)

#### ◇ビジター紹介 9名

#### ◇ニコボックス

北RC柴田君(谷口さんの名幹事を拜見しに伺いました), 水野(民)君(24年間もよくもまあ続いたもので感謝しております。本日早退します), 菅原君(早退します), 松居君(先日, 中日新聞に当社が掲載されました), 永井君(ゴルフ会幹事を務める事になりました。皆様の御協力をお願い致します。ゴルフ会前幹事の松居君, 御苦勞様でした), 竹内君(早退, お許しを!), 浅井君(本日卓話をさせていただきます), 和田君(早退, お許しを), 古川君(会葬お礼, 又ホームクラブ欠席のおわび), 鈴木(田)君(出席委員長として1年間務めますので何卒よろしく御協力下さい), 杉山君(2年皆出席を記念して), 青山君・鈴木(田)君(1年皆出席を記念して)

#### ◇谷口幹事報告

- 7月24日の夜間例会の出欠未返事の方は事務局へ至急御連絡下さい。
- 第273地区年次大会が都城RCホストで10月27日, 28日と開催されます。参加希望者は事務局までお申し出下さい。
- 席の番号札に關しまして, 赤い方の札はテーブルにそのまま残してお帰り下さい。

- 新しい会員名簿が作成されましたので, 手張の従来の中味とそのままそっくり差し替えてお使い下さい。
- 今年度より同好会を数多く設立したいと存じます。設立予定の同好会一覧を皆様に追って御連絡しますので, どうぞふるってご参加いただきますようお願いいたします。
- 会員の古川君より先日の御夫人の告別式にての御礼を皆様へと承っております。

#### ◇1983-84年度100%出席者記念品贈呈

24年  
~~~~~  
水野 民也 君  
~~~~~  
2年  
~~~~~  
秋山 貞男 君  
~~~~~  
1年  
~~~~~  
青山 敏郎 君 深見 章 君  
鈴木 正男 君

#### ◇加藤(大)会長挨拶

一年前私が副会長に御推挙頂いた折には当クラブには会長エレクト制はなかったのでありまして, 必ずしも次期会長と云う心づもりも。又充分な心構えもないままに其の時が来てしまいました。私ごときが会長をお引受けすると言う事は, 正に晴天の霹靂あると存じます。水野民也創立会長は今更私が申し上げるまでもなくロータリー歴24年という超ベテランロータリアンであり。ロータリーについて, 西も東もわからない一年生の私共を創立, 総会・チャーターナイトとよくぞここまで指導して汽関車として引張って来て頂いたものだと思います。第1回例会は8月16日でありましたので正確に申しますと今日で1年11ヶ月という事になりますが, ほんとうについ昨日の様にわからないままに一生懸命にやったな

つかしい思いでいっぱいでありました。ロータリー歴では私も竹内前会長と全く同じであります。先週も申し上げました通り竹内前会長と私とは格段の差があるのでありまして竹内前会長はロータリアンの優等生と申しても決して過言ではないと存じます。大変僭越ですがお二人に対し会員諸兄を代表して高い所からではありますが心から敬意を表し感謝申し上げます。前年度当千種クラブにおいては、竹内前会長はクラブのテーマを『和』と云う事に持って行きたい、とおっしゃいました。又その通り新美敢親睦委員長を中心とする委員の皆様、又メンバー諸兄の深い御理解と御活躍により大きな成果を上げられました。尚本年度は若手№1の和田君が親睦活動委員長を担当して頂くので一段と活発な活動を頂けるものと御期待下さい。私は本年度の千種クラブのテーマを(活性化と行動)すなわちアクションという事をモットーに進んで参りたいと存じます。これはわが千種クラブのメンバーには当らない言葉ではありますが、RCのメンバーとなり規定の会費の納入と規定の例会の出席率を確保して、只漫然とロータリーバッヂを着けていればロータリアンであるという事ではなく、RIの本年度の会長カルロス・カセンコの指針のごとく新しいアクションを起こす事によって我が千種クラブのより一層の向上を図りたいと存じます。又本年度は特に各委員長を中心とした委員会活動の活性化を展開して参りたいので何分の御力添の程を御願ひ申し上げます。

さてRI会長の指針が付けに発表される様になりましたのは1953年—54年度RI会長ホアキン・セラトラ・シビル氏(ウルグァイ)からであります。其の時のテーマは、The more clubs we have, the more friends we have, and more friends the greater our opportunities for service。(クラブが増えれば友人が増す。友人が増えれば奉仕の機会が増す)でした。

すでに1953年以来、31年間毎年RI会長の指針が公表されて来ているのでありますが、その一つ一つどれを取りましても実に中味のあるロータリアンとしては大変秀抜な意義の深いテーマばかりであります。さて今日はまだ年度始め第2回目の例会でもありますので、先週会長に就任の御挨拶の折には時間の関係もありまして会員諸兄には本年度のRI会長の経歴など紹介する事が出来ませんでした。すでにお読みになった事と存じますが先日頂いたロータリーの友7月号にRI新会長カルロス・カセンコの経歴紹介欄が載っております。それによりますと、彼を知るロータリアンは彼を奉仕の鉄人と呼ぶという。まさに

鉄人と呼ぶにふさわしい風貌の持ち主である。そのきびしい風貌には、中南米地域の数少ないアレルギー専門医として、未開の分野を切り開いてきた苦闘のあとがきざまれている。父親と同じ外科医となることを志望したとき父親はカンセコに対しアレルギー専門医になれ。自分の事は考えず、他人のことを考えなさい、とさとしたと云う彼の父親の言葉に動され、そこに奉仕の新生面を見つけたからではなかっただろうか。と記述されていました。

先月豊川で行われました地区協議会の会長部会で本年度RI会長カルロス・カセンコ氏のメッセージが全世界のロータリアンに対しテープで流されましたのを私の小さな機械で録音して参りましたので少々お聞き苦しいかも知れませんが、お聞き頂きたい。又RI会長の指針については先週要約して申し上げましたので重複しダブる点があると思いますが、彼の生の声を直訳したメッセージでありますので又一段と違った価値観と味わいがあると存じます。

ぜひ一つお聞き頂き、今日の会長挨拶と致します。

### 〔 カルロス・カセンコRI会長より 全世界のロータリアンへのメッセージ 〕



このメッセージは皆様ロータリアン1人1人へのメッセージとしてお聴き頂きたいと思ひます。

国際ロータリーはこの世の中の全ての人々にとって平和な住みよい場所にしようとする全世界に共通する目的のもとに世界中のロータリアンを結びつける組織です。その目標を達成するために皆様より一層の奉仕を実践されるなら、どれだけ皆様ご自身の生活、クラブ、ひいては皆様をとりまく社会全体がよくなっていくことでしょう。それがゆえに私は、皆様の地域社会でさらには国際的な面において奉仕の新生面を見出して下さるようお願いしているのです。

皆様のクラブにおいては、まず強力なクラブをつくるのがロータリーの奉仕を拡大するための第一条件であります。新しい目標を定め、新しい活動を展開される会長を助け、与えられた役割を立派に果たして下さい。そして優秀な資格を有する新会員を推薦して下さい。これらはみなクラブの活動力を強化し皆様ご自身の視野を広げるものとなります。

職場において果たして職業奉仕を実践しているかを知っているのは皆様ご自身であります。皆様が毎日多くの時間を共される職業の機会において、ロータリーが鼓吹する社会道

徳的水準の模範を示すことによりその実践ができるのです。

若い人達の職業の選択をして下さい、その選択は次の世代を担う彼らの将来だけでなく、社会全体の将来に影響を及ぼします。卒先して皆様の能力や専門知識を分かち合ってください。そして最も身近な奉仕の部門である職業奉仕の重要性を認識し直して下さい。

又皆様の地域社会において、街をよりよくするためにまだ開拓されていない奉仕の道を探して下さい。これはいろいろな方法で実行できます。若い人たちや高齢者、失業者、身障者への奉仕を強化することができます。多くの地域社会では衛生施設の改善、安全な飲料水の確保、怪我や疾病を消滅させ、覚醒剤の乱用を防止することも重要な課題です。そしてどの地域社会でも、新しいインターアクトクラブやローターアクトクラブを結成したり、活動が停滞しているクラブを活性化させて若い人々を奉仕精神に富むリーダーに育てる喜びを味わうことができます。

皆様の地域社会で奉仕の新生面を開拓する最善の方法は、皆様が一番よく御存知のはずです。重要なのは皆様のクラブが奉仕の新生面を見つけ、熱意と献身をもってその実行に乗り出されることです。

国際的な面においては、世界社会奉仕などの国際奉仕を通じて、この美しい天体、“地球”の上に存在する国々の人々へ援助の手をさしのべる奉仕の新生面を見つけて下さい。

保健、飢餓追放、人間性尊重をめざす3Hプログラムを含むロータリー財団の明るい将来を築こうとする教育かつ慈善的活動を支援する計画をたてて下さい。

国際協力委員会やロータリー友情交歓計画による新たな親睦の道を開いて下さい。ロータリーの青少年交換に参加させて若い人たちの国際的視野を広げて下さい。世界の平和と兄弟愛を増進させる方法を見出して下さい。

ロータリーの奉仕を展開させる道を探し力を合わせてよりよい世界の建設に乗り出そうではありませんか。（地区協議会での会長部会に流されたテープより）

#### ◆講演

“女子教育～ホンネとタテマエ～”

会員 浅井 誠寿君



女子教育といえば、年輩のお方は、貝原益軒の「女大学」を思い起されるでしょう。「女大学」は女子の修身育家の道を説き、儒教の思想にもとづいていますが、儒教はすなわち、封建国家であ

った周の国家体制を維持せんとする思想ですから、同様の封建制度による江戸時代の社会秩序を維持するには、丁度適した道徳律であったわけです。

儒教は、仁を理想の道徳とし、孝悌と忠恕をもって理想を達成する基本としました。孝は父母に、悌は目上に、忠は君主に、それぞれ真心をもって仕えることです。封建制度においては、国家・社会の秩序は、上下の関係をもって律せられ、家族関係に至るまで例外なく、男・女関係も、男が上位に位置づけられ、これを破ることは、ひいては、国家体制に及びますから、一方では、厳しい御法度で、一方では、道徳教育によって徹底を図りました。その教科書であった「女大学」は、従って、男女の上下の関係を徹底することを教育の目的としました。女子の徳は、和・順・貞・信にありとし、七去三従の教えを守り、男女の別を正し、多言嫉妬を慎むべしと論じました。

明治に入り、舶来思想の平等・自由民権思想がもたらされると、このような儒教の道徳律は批判をうけることになります。明治32年、福沢諭吉による「女大学評論」では、「女大学」を男女不平等を前提とする論で、全く価値なきものとしています。

戦後においては、ことに戦前の教育の全面否定として、新たに教育基本法が制定され、教育の目的は、「人格の完成をめざし平和的、民主的な国家・社会の形成者として真理と正義を愛し-----」とされました。ここには、男女の区別はなく、平等の人間・国民として把握され、学校教育における共学制として、具現され、例へば、良妻賢母の教育は、女性差別・女性蔑視として批判を浴び否定されました。現在でも、一種のタブーとされています。これらの批判は、新憲法や教育基本法に根拠をもち、極めて論理的です。しかし、批判の実態をみると、角を矯めて牛を殺す嫌いはないか、戦前の社会・教育に対する過度なアレルギー症状の側面がありはしないか。親の子に対する心、良き妻、賢い母になって幸せに暮らしてほしいという願いにはどう応えるのか。

時代とともに社会の仕組は、どんどん変わってゆくの、過去のイメージをいつまでも「言葉」に背負わせ、過去の時代とともに否定し去ってよいのか。社会的に共通の、時代を超えた「ホンネ」が、論理的「タテマエ」によって実現しにくい教育界の現状、それが新聞を賑わす出来ごとを生み出しているのとは違うのか。

昭和16年、土光敏夫さんのお母さんの橘女子高校建学の弁～「育児とか躰は母親がしっかりしなければダメです。次の国民を養成す

るのは母親の責任ですから、どうしても女子教育をやらなければ……」(中日新聞「日本への直言」より)と、昭和58年度、全国の短大の学生数33万人のうち女子が93%を占め、そのうち家政・保育・文学を学ぶものが80%に及ぶという統計を御紹介して、お粗末の一席これまで。

～～～ 新年度の発足にあたって～～～

ガバナー 奥谷博俊

古い伝統に輝く世界でも有数の優秀地区としてその業績を残している第260地区ガバナーの役を努めることになりました。この1年間を皆様と共に奉仕できることを大変光栄に存じています。しかしその任の重さを考えますと感慨無量であり、皆様の深いご理解とご援助がなければ、到底この大任を果たすことはできません。よろしくご協力の程お願い申し上げます。

本年度RI会長カルロス・カセンコ氏は、  
DISCOVER A NEW WORLD OF SERVICE  
—見つけよう 奉仕の新生面—のテーマをかかげ、私達ロータリアンに呼びかけておられます。この方針を十分に理解し、この方向に向かって努力することが、ロータリアン並びにクラブの責務であります。

ロータリアンは自ら意識することなく、文化や科学の創造に尽した図書館、博物館、大学のようなことを行う人々であり、ロータリークラブはその地域の文化遺産を維持しようとする志を同じくする人々の集団であります。ロータリーでは人間の持つ奉仕という創造的精神を呼びおこし、一般教養を絶えず身につけることに関心を持つことが大切であり、ロータリークラブは文化の維持者、伝達者であり、そして奉仕の道場でもあるといわれています。

今日のような世界情勢が不透明で流動的な中では、ロータリアンの責務は益々重要であります。この際、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のいずれの面においても、さらに一層の奉仕の機会を広げるためには、大航海時代の偉大な探検家を乗せた船のように、ロータリークラブは変革のパイロットとして、新しい方法を創造して、奉仕のための新たな領域と道の発見に勇気とロマンを潜めて行動されることが要望されています。

クラブ奉仕では、ロータリーが善への行動半径を大きくするためには、会員増強、新クラブの拡大が大切で、本年度の会員増強は純増6%、年度末迄に100万人の大台の達成を目標とされ、一方、明日の世界を担う指導者となる青少年育成のため、インターアクトクラブ、ローターアクトクラブの設立を強く奨励されています。

職業奉仕では、綱領に基づく高度な道徳的

水準を確保するため、職業奉仕の重要性を再認識すると共に青少年のための職業選択の指導について奉仕することを求めておられます。

社会奉仕はテーマの中で最も強く指摘されている奉仕であり、今日までに海図に書きこまれていない新しい奉仕を求め、変貌の著しい社会に対応できる奉仕活動の展開を強く要望されています。また大型プログラムとしてロータリー100周年に当る2005年には小児麻痺の撲滅の宣言ができるような対策を考えておられます。

また、国際奉仕では、平和を促進する新しい方法として、世界社会奉仕事業のほか、国際共同委員会やロータリー友情交換プログラムにより、新たな親睦の道の建設を提唱されています。

この一年間、カンセコ会長のご方針に従い、微力ではありますが、精一杯の努力をする覚悟でございますので、より一層のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

(ガバナーズレターより)

#### ◆住所表示変更のお知らせ

会員 秋山 茂則 君  
事業所 名古屋市千種区今池南29-10  
㈱六法出版社

#### ◆住所変更のお知らせ

会員 菅原 宜彦 君  
自宅 名古屋市名東区社が丘2-602  
TEL 702-0400

..... 会報委員会よりお願い .....

原稿依頼の件として既に皆様にご案内済みですが、今後の例会での講演において、講演者を紹介頂いた会員の方はあらかじめ、

講演の当日、要旨を原稿用紙

(400字詰)2~3枚にまとめて

例会場にお持ち頂くように

講演者に御了解をとる旨を徹底させたいと思っておりますのでよろしく御協力下さいますようお願いいたします。

(委員長 尾関武弘)

#### ◆次回例会 (7月17日)

講演 “名古屋場所あれこれ”  
相撲協会役員 佐渡ヶ嶽部屋親方  
佐渡ヶ嶽 慶兼氏 (紹介 安藤君)

#### ◆次々回例会 (7月24日)

夜間例会の為、講演はございません。